

# ORIGIN REPORT

株主の皆様へ 第118期 中間報告書

2018.4.1 ▶ 2018.9.30

Electronics

Mechatronics

Chemitronics

Components

 オリジン電気株式会社

証券コード：6513



代表取締役社長  
妹尾一宏

## 独自技術とシナジー発揮で 常に新市場を創出できる 企業を目指します

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第118期第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日まで）のご報告をお届けするにあたり、概況を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内で自然災害が相次ぎ発生したものの、全体的には企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続き、設備投資も堅調に推移するなど緩やかな回復基調が続きました。一方で、米中貿易摩擦の動向が世界経済に与える影響等により、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような中、当第2四半期連結累計期間の売上高は210億8千8百万円（前年同四半期比32.5%増）となりました。

利益面におきましては、営業利益18億4千4百万円（前年同四半期比198.9%増）、経常利益19億7千2百万円（前年同四半期比190.0%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は13億3千2百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億2千8百万円）となりました。

私たちは独自技術とシナジー発揮で、常に新市場を創出できる企業を目指します。

なお、中間配当金につきましては、去る11月9日開催の取締役会におきまして、1株20円とさせていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

## 経営理念

人類社会に役立つ  
存在感あふれる企業を目指し

世界中から情報が集まり人が集まる

「開かれた企業」となろう

オンリーワン技術を磨く

「独自性ある企業」となろう

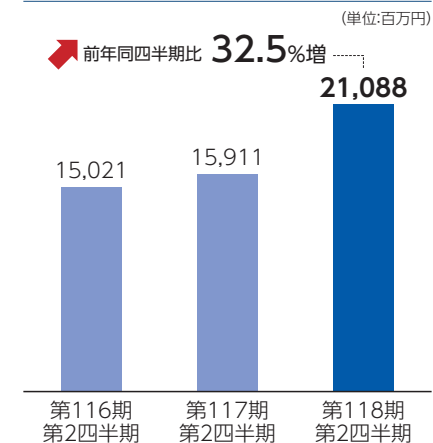
チャンスを与え失敗を乗り越え、任せることの出来る

「自己実現の場である企業」となろう

### 売上高

210億88百万円

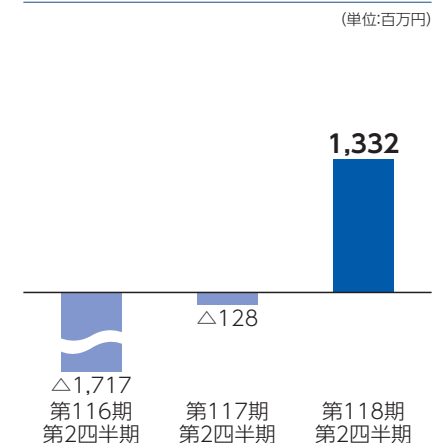
前年同四半期比 51億77百万円増



### 親会社株主に帰属する四半期純利益

13億32百万円

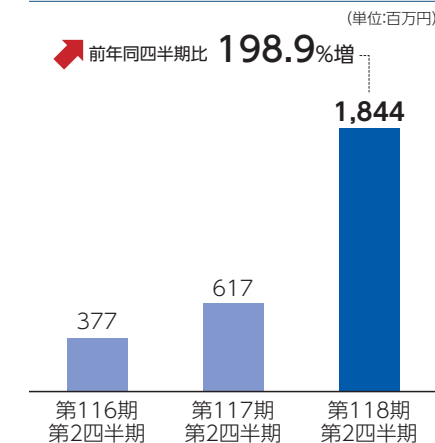
前年同四半期比 14億60百万円増



### 営業利益

18億44百万円

前年同四半期比 12億27百万円増



### 総資産／純資産

総資産

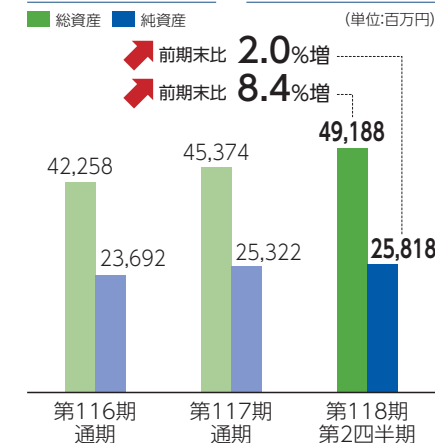
491億88百万円

総資産前期末比  
38億13百万円増

純資産

258億18百万円

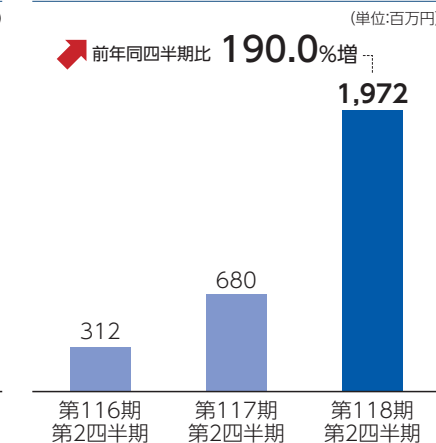
純資産前期末比  
4億96百万円増



### 経常利益

19億72百万円

前年同四半期比 12億92百万円増

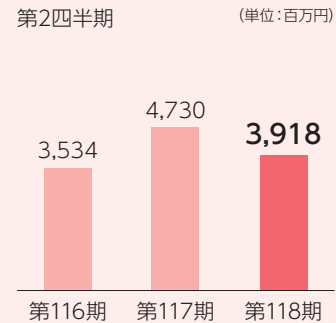
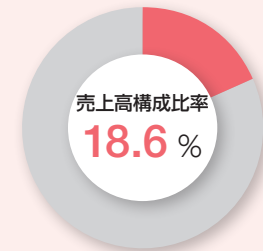


### 第118期 通期業績予想

売上高	40,000百万円	前期比 20.6%増
営業利益	3,000百万円	前期比 64.6%増
経常利益	3,000百万円	前期比 57.2%増
親会社株主に帰属する当期純利益	2,000百万円	前期比 130.3%増
1株当たり当期純利益	301円53銭	

## エレクトロニクス事業

3,918 百万円



## 主要製品

**電源機器**: 各種直流電源機器、液晶製造装置用高電圧電源機器、直流高電圧電源機器



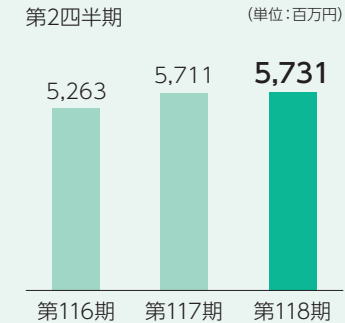
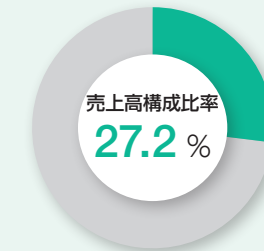
X線装置用電源

移動通信基地局用整流装置  
(基地局屋外)

エレクトロニクス事業の売上高は前年同四半期比17.2%減の39億1千8百万円（総売上高の18.6%）となりました。スマートフォンなどの携帯端末向け無線基地局用電源は堅調に推移し、また医療用高電圧電源の売上も伸長したものの、通信センター局などの通信設備用電源は投資抑制が影響し売上減となりました。

## ケミトロニクス事業

5,731 百万円



## 主要製品

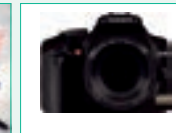
**合成樹脂塗料**: プラスチック用塗料、プラスチック用水系塗料、非鉄金属用塗料、UV硬化塗料、触感塗料、真空蒸着用塗料



- 採用部品: メータークラスター  
採用塗料: エコネットVZ-2
- 採用部品: センタークラスター  
採用塗料: エコネットNS-3+  
エコネットNS-2



- 採用部品: シフトパネル  
採用塗料: エコネットET SS
- 採用部品: スイッチベース  
採用塗料: エコネットNS-2

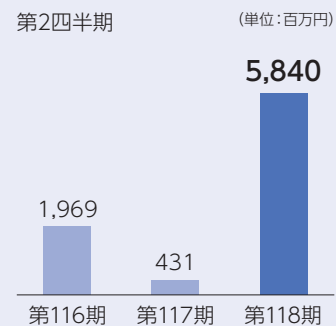
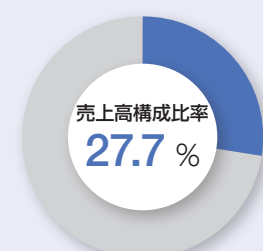
化粧品容器  
採用塗料: 東邦化研工業株式会社製UV塗料デジタルカメラ  
採用塗料: プラネットPX-1ナビパネル  
採用塗料: UV TP

ケミトロニクス事業の売上高は前年同四半期比0.3%増の57億3千1百万円（総売上高の27.2%）となりました。

主力の自動車分野が堅調に推移し、また化粧品分野のインバウンド効果もあり、全体として微増となりました。

## メカトロニクス事業

5,840 百万円



## 主要製品

**システム機器**: モバイルディスプレイ貼合せ装置 (MDB)、車載・産業用ディスプレイ貼合せ装置 (DB)、大型溶接機 (RMW)、光半導体用キャップシーラー (CSW)、真空ソルダーリングシステム (VSM)、および各種システム機器



自動車駆動系部品向け大型溶接機



真空ソルダーリングシステム

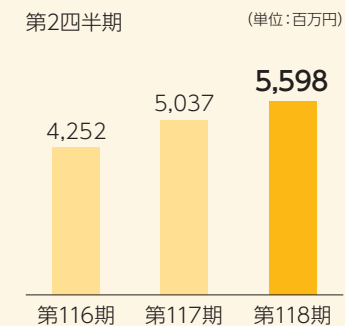
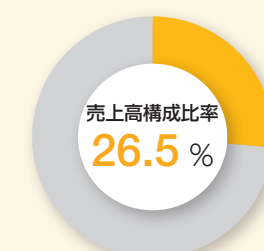


車載・産業用ディスプレイ貼合せ装置

メカトロニクス事業の売上高は58億4千万円（総売上高の27.7%）となりました。前期受注済み案件のMDB (Mobile Display Bonder) が大きく寄与し前年同四半期比大幅増となりました。また真空ソルダーリングシステム (VSM)、車載・産業用DB (Display Bonder) も寄与しました。

## コンポーネント事業

5,598 百万円



## 主要製品

**半導体デバイス/精密機構部品**: 高速ダイオード、整流ダイオード、ショットキーバリアダイオード、サージ吸収素子等の半導体およびその複合モジュール、ミニチュアベアリング、ワンウェイクラッチ、トルクリミッター、小型メカニカル製品およびその複合品



半導体デバイス



ワンウェイクラッチ



トルクリミッター



小型双方向クラッチ

コンポーネント事業の売上高は前年同四半期比11.1%増の55億9千8百万円（総売上高の26.5%）となりました。事務機器向けは引き続き伸長し売上増に貢献しました。また金融機器関係や半導体設備関係も対前年同期比で上昇に転じております。

2019年4月1日

## オリジン電気株式会社は 株式会社オリジンへ 商号を変更いたします。

当社は1938年に電気炉、亜硫酸銅整流器の製造を目的として、後藤安太郎が富士電炉工業として東京の面影橋で創業いたしました。その後、整流素子の開発、配電盤の製造事業へと移行し、新しい製品を生産するようになったため、1952年の15周年の記念として、全て基本(Origin)から研究や経営をしていこうという意味で、社名を現在のオリジン電気に変更いたしました。

1955年に溶接機、1957年に合成樹脂塗料、1961年にベアリング製造と、電源機器や半導体の開発で培われた多様な要素技術をベースに新規事業を発足させました。

現在はエレクトロニクス事業として電源機器、メカトロニクス事業としてシステム機器や溶接機、ケミトロニクス事業として合成樹脂塗料、コンポーネント事業として、精密機構部品や半導体デバイスを製造販売しています。このように当社の事業は従来の電源機器、半導体デバイス製造の領域を超えて大きく進化・拡大していることから、電気という鎧を脱ぎ、新しいオリジンへ変貌する時が迫っています。

私たちは、開かれた独自性ある自己実現の場である企業を目指して、環境にやさしい製品開発をしています。

私たちは、自由な雰囲気の中で考えたアイデアを製品に変えていきます。

私たちは、全て基本から研究や経営をしていくという精神を引き継ぎ、更なる進化を目指します。

この80周年を機に、改めて、お客様の夢の実現に、そして社会に技術でお応えしていく企業でありたいと決意を新たにしております。

皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



1938年 オリオン流気式電気炉  
陸軍航空工廠の依頼によって製作したエンジンヘッドの耐熱銅処理用の電気炉。



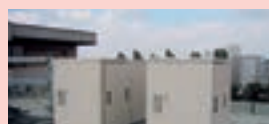
1953年 振動式電気洗濯機



1957年 65V48000Aゲルマニウム整流器  
65V48000Aゲルマニウム整流器は当時として国内最大の整流器で、3相交流3.3kVを受電、直流出力65V48000A。



1969年 電気集塵機用電源  
昭和30年代、公害が大きな社会問題になった。公害対策もかねて煤煙や粉塵中から有価物を回収、再利用して製品コストの低減を図る試みが活発化してきた。時代にマッチし、トップシェアを占めるに至った。



1990年代 屋外基地局用電源箱



1997年 MH型整流装置



2002年 バラスト電源  
プロジェクトセット内でランプのチラツキ防止、長寿命化の要となる電子安定器。軽量・小型化要求に対応。



2006年 800Vダイオード (FV02R80)



2011年 HVDC向け整流装置



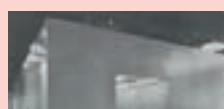
主力品 整流装置 (DC48V45A) 屋外仕様



1938年 ライトバス電気炉



1954年 静止形電気集塵機用電源



1960年 電話交換機用ゲルマニウム装置A-24000-1号  
当時としては世界最大級の電話局用の電源で、3相交流3.3kVを受電し、蓄電池を浮動充電しつつ、最大24000Aの負荷電流を供給する、端電池方式整流装置。



1971年 プラズマアーク溶接機



1990年代 電柱に取り付けられた携帯電話基地局  
携帯電話が本格的に普及し、加入数の急増に対応するためには携帯電話用の基地局を早急かつ広範囲に広げる必要があった。



1993年 パラレルシーム溶接装置 [OS-200型]



2006年 偏向型電子銃



1996年 レントゲン装置用電源



2010年 光学デバイス貼合せ装置 [MDB]  
紫外線硬化型樹脂の貼合せ部分では、光ディスク製造装置に採用されている電圧印加貼合せ技術を応用することで、常圧環境下でも気泡混入を防ぐ貼合せを達成。



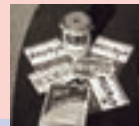
新製品 車載向けディスプレイ貼合せ装置



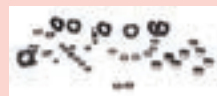
1939年 セレン整流器  
整流器の機能は交流を直流に変換させる。セレン整流器の場合は、その電極となる金属板にセレン元素を塗布し、整流の役目を果たさせる仕組み。



1955年 コンデンサ型スポット溶接機  
向かい合った電極チップの間に被溶接物をはさんで適当な圧力を加えておき、コンデンサに蓄えられたエネルギーを瞬間的に大電流として放電し、溶接箇所を接触抵抗による発熱を利用して溶接する。



1950年代 合成樹脂塗料  
メラミン、エポキシ系を中心に合成樹脂塗料の本格的な量産を開始。



1961年 ミニチュアベアリング  
ベアリングの性能に影響する錆をさけるため、当初より、ステンレス材を用いて製作。当時はステンレス製ベアリングは市場でも数少ない存在であった。



1975年 オリジブレートZ  
プラスチックめっき用塗料の次世代塗料として開発された二液アクリルウレタン系塗料。



1990年 全自動抵抗溶接機 [JPF-3A型]  
情報化社会の急速な進歩に伴い、通信機器用等の部品としての水晶発振子、光半導体素子の封止用として開発された自動溶接機は完全無人化を可能にした。



1993年 パルスプラズマアーク溶接機 [OPW-200P型]



1980年代 プラスチック用塗料 [プラネット]

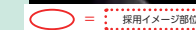


1994年 CD-2UC型スピコンター

ディスクの反射膜面を保護するUV硬化性塗料をコーティングする装置。当時は1.5秒/枚と世界で最も早い生産性を有した。



新製品 小型高トルクリミッタ



新製品 エコネットE B-F F

電気系

機械系

化学系

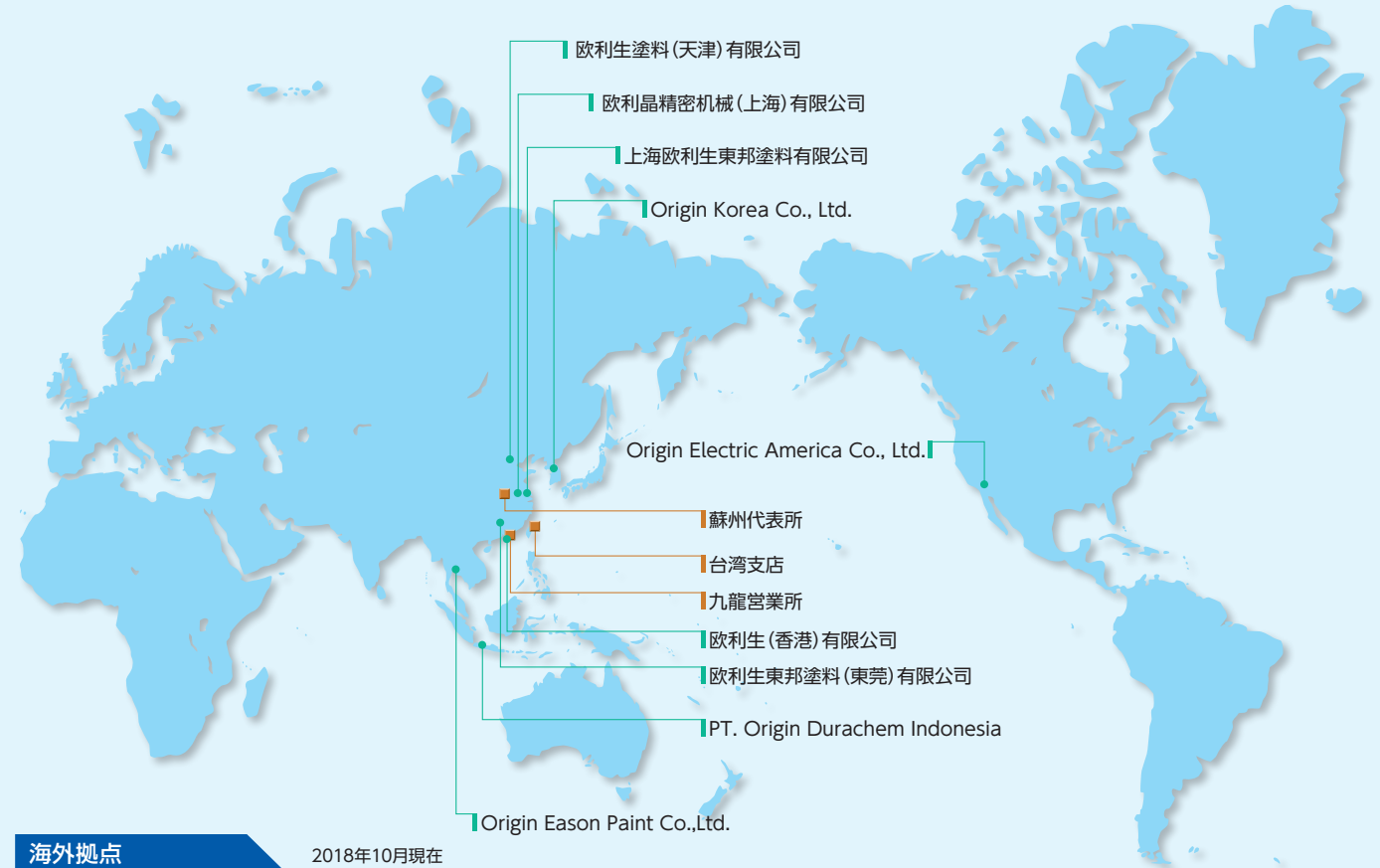
# 世界中へ広がり続けるネットワーク

グローバル化の波が産業社会を急速に駆け抜ける現在。ビジネスに、もはや国境など存在しないという認識の上で、世界で役立つ技術開発はもとより、生産・販売拠点のグローバル展開によりお客様を強力にサポートします。



国内拠点

2018年10月現在



海外拠点

2018年10月現在



## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目/期別	前期 2018年3月31日現在	当第2四半期 2018年9月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	26,960	30,544
固定資産	18,414	18,643
有形固定資産	11,128	11,387
無形固定資産	670	649
投資その他の資産	6,615	6,606
資産合計	45,374	49,188
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	15,869	17,453
固定負債	4,183	5,915
負債合計	20,052	23,369
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	19,625	20,791
その他の包括利益累計額	3,000	2,579
純資産合計	25,322	25,818
負債純資産合計	45,374	49,188

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目/期別	前第2四半期累計期間 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日	当第2四半期累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日
売上高	15,911	21,088
売上原価	11,817	15,634
売上総利益	4,094	5,454
販売費及び一般管理費	3,477	3,609
営業利益	617	1,844
営業外収益	189	268
営業外費用	127	141
経常利益	680	1,972
特別利益	1	13
特別損失	371	5
税金等調整前四半期純利益	309	1,980
法人税等	294	503
四半期純利益	15	1,476
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△128	1,332

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目/期別	前第2四半期累計期間 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日	当第2四半期累計期間 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	576	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△824	△553
財務活動によるキャッシュ・フロー	△478	821
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	△43
現金及び現金同等物の増減額	△744	318
現金及び現金同等物の期首残高	5,578	5,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,834	5,394

## 株式の状況

(2018年9月30日現在)

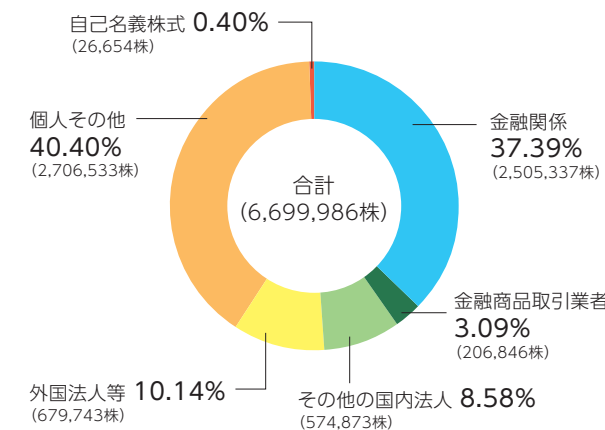
発行可能株式総数.....26,600,000株  
発行済株式の総数.....6,699,986株  
株主数.....4,686名

## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
オリジン電気取引先持株会	396	5.94
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	376	5.63
株式会社みずほ銀行	331	4.96
明治安田生命保険相互会社	302	4.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	201	3.03
株式会社りそな銀行	156	2.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	126	1.90
トーア再保険株式会社	121	1.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	113	1.70
みずほ信託銀行株式会社	104	1.57

出資比率は自己株式(26,654株)を控除して計算しております。

## 所有者別分布状況(株式数別)



## 会社概要

(2018年9月30日現在)

会社設立年月日 昭和13年5月1日  
代表者 代表取締役社長 妹尾一宏  
資本金 6,103,252,996円  
従業員数 724名

## 主要な事業所

本社さいたま新都心オフィス ☎ 048 (755) 9711 (代表)  
〒330-6013 埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2  
明治安田生命さいたま新都心ビル13階

本社事業所 ☎ 048 (755) 9011 (代表)  
〒338-0823 埼玉県さいたま市桜区栄和3丁目3番27号

間々田工場 ☎ 0285 (45) 1111  
〒329-0211 栃木県小山市暁3丁目10番5号

瑞穂工場 ☎ 042 (557) 4111  
〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2丁目3番地11

## 取締役および執行役員

(2018年9月30日現在)

代表取締役社長	妹尾一宏	執行役員	大河原正之
取締役常務執行役員	篠原信一	執行役員	宮内公平
取締役常務執行役員	源島康広	執行役員	篠原清
取締役上席執行役員	高木克征	執行役員	望月治彦
取締役執行役員	樋口淳一	執行役員	副島賢治
取締役執行役員	石田武夫	執行役員	内藤佳彦
取締役執行役員	琴寄正彦	執行役員	長尾憲忠
		執行役員	堀智典
取締役監査等委員	戸塚晶一	執行役員	福田健夫
取締役監査等委員(社外)	大日方勝彦	執行役員	酒井達郎
取締役監査等委員(社外)	東條宏史	執行役員	榎本富士男
取締役監査等委員(社外)	高田忠美	執行役員	寺本進

## 株主メモ

証券コード	6513	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月		
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告 いたします。	お問合せ先	… 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	株式に関するお問合せ先	
単元株式数	100株	証券会社に口座を開設 ...	口座を開設されている証券会社にご連絡 されている株主様 ください。
公告方法	電子公告にて行います。 (公告掲載URL <a href="https://www.origin.co.jp/financial/koukoku">https://www.origin.co.jp/financial/koukoku</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告をすることができ ない場合は、日本経済新聞に掲載して行い ます。	証券会社に口座を開設 ...	みずほ信託銀行 証券代行部 されていない株主様 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
		未払配当金のお支払	… みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)

### 単元未満株式をご所有の株主様へ

ご所有されている株式のうち、単元未満株式(100株未満の株式)につきましては、市場で売買することができません。その代わりに、当社に対して単元未満株式を売却する「買取請求」または単元未満株式が100株(1単元)となるよう株式を購入する「買増請求」をすることができます。詳細につきましては、口座を開設されているお取引証券会社等にお問い合わせください。なお、特別口座にて株式をお持ちの株主様は、特別口座管理機関のみずほ信託銀行にお問い合わせください。